



年頭にあたり

北海道細胞検査士会 会長 中村厚志

明けましてしておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。

この新しい年が皆様にとりまして実り多く充実した1年となりますよう心からお祈り申し上げます。

平成27年度事業も学術講演会と第28回細胞診従事者講習会を残すのみとなりました。学術講演会では「細胞診わかばセミナー～細胞検査の基礎から応用まで～」と題し、東海大学医学部附属病院の加戸伸明技師に初心者から初級者、細胞検査士を目指す人を対象とした内容でお話していただきます。第28回目となる細胞診従事者講習会の特別講演には筑波大学病理診断学の野口雅之先生に「新しいWHO肺癌分類の要点と問題点」と題し、ご講演をお願いいたしました。シンポジウムでは「尿細胞診の現状と新しい試み」のテーマで4名のシンポジストから発表していただきます。多くの会員の出席をお待ちしています。

平成27年度は多くの会員へ迅速な情報伝達や相互の意見交換などを目的に「さくさくネット」を利用したメーリングリストによる情報提供を行ってきましたが、運営サイトの諸事情で運用が出来なくなり、11月からは運営サイトを「MLIST」に移行し継続しています。会員各位にはご迷惑をおかけしましたが、今後もより良いメーリングリストの活用で利便性を高め積極的に活動を行ってまいります。現在、細胞検査士と細胞専門医合わせて161名が登録しています。周りの会員へ登録参加へのお声掛けもお願いいたします。

学術活動の他に、昨年4月にLOVE49街頭啓発活動、8月には札幌臨床検査技師会からの協力要請で「検査 de フェスタ」で細胞検査士アピール活動を皆様の協力のもと行ないました。

3月6日の細胞診従事者講習会時には平成28年度北海道細胞検査士会の総会を開催します。本総会では役員選考委員から次期会長候補者の提案があります。今後2年間の北海道細胞検査士会活動を確実に遂行するための大事な提案であります。多くの会員の出席と参加をお願いいたします。

最後になりますが、この1年、充実した有意義な活動を通じて会員皆様に様々な情報や技術提供できるよう行なってまいります。より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

メーリングリストへの登録のお願い

会員への情報伝達手段の一つとしてメーリングリストを開設し、北海道臨床細胞学会や北海道細胞検査士会からの情報配信に利用しています。未登録の方々はご参加をお願い致します。

メーリングリストへ登録をして頂ける方は、

①メーリングリスト管理者（徳永 y1tokuna@d9.dion.ne.jp）までメールを送って下さい。

【件名】は「メーリングリスト参加」として下さい。

【本文】には、所属地区、施設名、お名前を記載し送って下さい。

②管理者が登録をしたら、“登録完了メール”が配信されます。





第54回 秋期大会(名古屋市) 学会見聞録



「第54回日本臨床細胞学会秋期大会見聞録」

KKR 札幌医療センター 小泉 潤

11月21日～22日に名古屋で行われた『細胞学会秋期大会』に参加しました。私自身、昨年細胞検査士の資格を取ったばかりで学会参加は初めてのことだったので、憧れだった学会に参加出来るという喜びと一体どんな事が学べるのだろうと言う期待を胸に名古屋へと向かいました。

名古屋はとても温かく、コートなんて必要ないくらい。一方、北海道ではちょうど雪が降っていたとか…気候の違いに驚かされながらも学会当日。私は学会後に行われた『北海道細胞検査士会道央地区例会』で体腔液細胞診の症例発表をさせて頂く事になっていたため、学会では体腔液分野を中心に病理・細胞診断セミナーやワークショップ等に参加しました。内容はそれぞれ大変興味深く、初めて知った事も多々あり、とても勉強になりました。また、発表の仕方やスライドの作り方といった点でも多くの事を学び、その後の自分の発表にも大変参考にさせて頂きました。

学会参加にあたって、もう1つ楽しみにしていたこと。それは、細胞検査士になるために当時一緒に勉強した全国各地の仲間達に会う事です。今回の細胞学会にも当時の仲間が数名参加していたので、会場で会った時には当時の懐かしい話から近況報告まで色々な話をし、短い時間ではありましたがとても楽しい時間を過ごす事ができました。仲間同士これからも互いに精進し、また1つ成長して学会で会おうと、そんな約束もしました。

全体を通して、私自身大変良い刺激を受けた学会となりました。今回は自分で発表する事はなかったのですが、今度は発表する事を目標に、また学会に参加したいと思います。最後になりますが、せっかくの名古屋出張だったので……名物のひつまぶし……しっかり頂いて参りました(笑)。こちらは大変良い思い出となりました♪ありがとうございました！！

検査 de フェスティバルに参加協力して

札幌臨床検査技師会主催の「検査 de フェスティバル」が昨年8月30日に札幌駅地下歩行空間「北3条交差点広場西」で開催されました。北海道細胞検査士会も共催し、道央地区会の会員10名が参加協力しました。細胞検査士会は「がんコーナー」を担当し、乳がん模型を使った触診体験やパネルとリーフレットを用いて「がん予防の啓発活動」と「細胞検査士の紹介」を行いました。がんコーナーでは1000部のリーフレットを配布することが出来、細胞検査士をアピールすることも出来ました。

第36回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会 終了

先年11月1日(日)、旭川市大雪クリスタルホールにおいて、第36回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会が開催されました。札幌以外での開催でしたが、学会長である千石一雄先生のもと、一般演題19題スライドセミナー3症例、特別講演としてJCHO相模野病院婦人科腫瘍センター長の上坊敏子先生をお招きし「子宮内膜細胞診の診断的意義」と題してご講演頂き、多数の会員の参加により、盛会のうちに終了しました。

2015年細胞検査士認定試験合格者

おめでとう 新たな仲間たち

平野 真里 旭川がん検診センター
鈴木 雄太 札幌厚生病院
佐々木 淳貴 函館中央病院
永森 祐衣 旭川がん検診センター

新谷 弥香 札幌厚生病院
岩間 由紀 函館五稜郭病院
滝田 翼 八雲総合病院

(敬称 略)

「認定試験を終えて」

JA 北海道厚生連 札幌厚生病院

新谷弥香

昨年は2次試験で不合格となってしまう、今年は絶対に合格したいという強い気持ちがありました。勉強と日々の仕事との両立は大変な部分も多かったのですが、ルーチン標本の鏡検、勉強会やワークショップへの参加、母校の大学で勉強させていただくなどして、なんとか合格することができました。試験勉強を通して様々な知識が身に付きましたが、それ以上に、周りの方々の応援の暖かさや、日々の積み重ねの大切さなど数多くのことを学びました。基礎からご指導いただいた自施設の皆様、勉強会を開催して下さった北海道大学病院の皆様、模擬試験などを行って下さった細胞検査士会の皆様、本当にお世話になりました。まだまだ未熟ですので、日々の鏡検を正確に行えることを目標に頑張っていきます。今後とも宜しく願い致します。

「合格報告書」

北海道対がん協会 旭川がん検診センター

平野真理

私は北海道対がん協会旭川がん検診センターに勤めて2年目、細胞検査士の試験は一次試験、二次試験とも初めて受験しました。細胞診の勉強を始めたばかりの頃は、教科書を見ながら鏡見してもほとんどよくわからない状態でした。そのようななか、私の先輩の細胞検査士さんが婦人科細胞診の基礎や教科書には載っていないけれどもとても重要な細胞診に関する内容を丁寧に指導してくれました。そのおかげで、細胞診を勉強することが苦痛ではなくなりもっといろいろなことを理解して身につけていきたいと思いました。試験対策において、私の施設で普段あまり見ることでできない標本は他施設の技師さんの協力で見せてもらうことができました。多くの技師さんが試験合格のために力を尽くしてくれました。本当にありがとうございます。仕事上、出張が多いため毎日鏡見することができなかつたり、一次試験の勉強を出張先の宿でしたこともありました。仕事と勉強の両立は大変でしたが、合格したときの喜びはそれらの苦勞を一気に吹き飛ばしてくれました。まだ細胞検査士としてのスタートラインに立ったばかりなのでこれからさらに様々なことを勉強し努力を積み重ねていきたいと思えます。

シリーズ:地区会活動報告

各地区会の活動をシリーズ化して紹介します。第2回目は道南地区会です。

道南地区会

代表幹事 秋田 隆司

道南地区会は「けるんの会」と称し、医師6名と細胞検査士および細胞診に興味ある会員30名ほど、20歳代から80歳代まで幅広い年齢層で活動しております。昭和55年(西暦1980年)3月に第1回細胞診研究会を始めてから、現在369回です。活動は1月の総会および新年交礼会を皮切りとして、2月から11月まで月に1回2時間ずつ、主にスライドによる症例検討会を持ち寄りおよび施設担当で行っています。

また、平成27年度は9月に「子宮頸部上皮内腫瘍と腺系病変」というテーマで、講師に笹野公伸先生と岡本聡先生をお迎えして教育講演・スライドセミナーを35名の参加で開催することができました。勉強の後はもちろんお楽しみ会(写真はない、撮影禁止)。

369回の積み重ねはほんとうにケルンのよう。この数字はなかなか重い。続けることの大変さを実感しております。



婦人科細胞診研修会 終了

平成 28 年 1 月 16 日（土）、北海道がんセンター3 階大講堂において、がん診療連携拠点病院強化事業による婦人科細胞診研修会が開催されました。子宮頸部腺癌をテーマにした研修会で、最近の子宮頸部腺癌の治療の動向について北海道がんセンター婦人科医長、岡元一平先生のご講演があり、宮城県対がん協会細胞診センターの及川洋恵さんからは子宮頸部の腺系病変の細胞像についてのご講演がありました。講演後は Surepath 標本を含む厳選症例を Zavic や鏡検で討論しながら診断する実習が行われ、大変有意義な勉強会でした。山城先生はじめ講師の皆様、北海道がんセンターの皆様、ありがとうございました。（文責野崎）

【研修会に参加して参加者からの感想】

- 新年、一発目の勉強会！子宮頸部の腺系病変について講演、鏡検実習ともに充実した内容で、大変勉強になりました。今回学んだ事を活かし、腺系病変への苦手意識を変えていければ良いと思います。
- 組織像と細胞像を対比しながら解説して頂いたのでも勉強になりました。まだまだ勉強が足りないと感じました。これから勉強を怠らずに頑張ろうと思いました。
- 細胞像を見ながらディスカッションするのは初めてでしたが、先輩方の意見を聞きながら組織型を考えて行くのがとても勉強になりました。講師の先生方ありがとうございました。



講師の及川洋恵さん（中央）

今後の予定

- 平成 27 年度北海道細胞検査士会学術セミナー：細胞診わかばセミナー ～細胞検査の基礎から応用まで～
平成 28 年 1 月 30 日（土）14：00～札幌医科大学臨床教育研究棟 2 階第 1 講義室
- 第 1 回、第 2 回細胞検査士会ワークショップ「口腔領域・子宮頸部の臨床、病理、細胞診断」：
第 1 回：平成 28 年 2 月 27 日（土）、第 2 回：平成 28 年 2 月 28 日（日） 大阪医科大学
- 第 28 回細胞診従事者講習会：平成 28 年 3 月 6 日（日）札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂
- 平成 28 年度北海道細胞検査士会総会：平成 28 年 3 月 6 日（日）札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂
- 第 71 回細胞検査士ワークショップ：平成 28 年 3 月 12 日（土）～13 日（日） 福岡
- 第 57 回日本臨床細胞学会春期大会&国際細胞学会 ICC2016
平成 28 年 5 月 27 日（金）～29 日（日） パシフィコ横浜
- 第 72 回細胞検査士ワークショップ：平成 28 年 7 月 23 日（土）～24 日（日） 札幌開催予定 内容未定
- 第 72 回細胞検査士教育セミナー：平成 28 年 8 月 27 日（土）28 日（日） 東京
- 第 73 回細胞検査士教育セミナー：平成 28 年 9 月 10 日（土）11 日（日） 大阪
- 第 37 回北海道臨床細胞学会・総会：平成 28 年 11 月 27 日（日） 札幌医科大学臨床教育研究棟 臨床大講堂
- 第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会：平成 28 年 11 月 18 日（金）～19 日（土） 別府コンベンションセンター

<編集後記>

皆様、いかがお過ごしですか？今年には国際細胞学会やワークショップの札幌開催があります。今年には申年、日光東照宮の三猿が有名ですが、秩父神社には日光東照宮の三猿と正反対の「よく見て・よく聞いて・よく話す」三猿（お元気三猿と呼ばれる）徳川家康が寄進した彫り物があります。学会では「お元気三猿」でありたいですね。（文責 野崎）